

安心してボランティア活動や地域福祉活動を進めるために

福祉行事保険のご紹介



福祉行事保険とは？

- ・福祉に関する行事にかかる傷害補償、賠償責任補償がセットになった保険です。(賠償責任補償は主催者が賠償責任を負った場合のみ)
- ・行事前日までの申し込み完了で保険が有効になります。
- ・行事の主催団体で社会福祉協議会や加入要件を満たしたボランティア・市民活動団体が加入資格者になります。
- ・対象は加入資格者が主催する非営利の公益的な行事で、自治会、子供会などでも加入できます。(加入資格者についての詳細はパンフレットで確認してください)
- ・行事内容(種別・宿泊日数等)で掛金が変わりますが補償内容は一律です。Aプランは日帰り型、Bプランは宿泊型です。

○「福祉行事保険」の内容○

プラン・保険料について

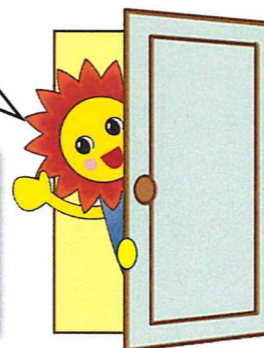
保険料【Aプラン(日帰り)とBプラン(宿泊)の2種類あります。】

プラン	A-1	A-2	A-3	B-1 (1泊2日)	B-2 (2泊3日)	B-3 (3泊4日)
保険料/1名	30円	137円	269円	238円	291円	299円
プラン			B-4 (4泊5日)	B-5 (5泊6日)	B-6 (6泊7日)	B-7 (7泊8日)
保険料/1名			355円	363円	371円	506円

お気軽にお問い合わせください

〈お問い合わせ先〉

城陽市社会福祉協議会【担当：古閑】(住所：京都府城陽市寺田東ノ口17)
 電話：0774-56-0909 FAX：0774-56-2800
 E-mail：koga@jyoshakyo.or.jp



令和4年8月号発行 ボランティアだより

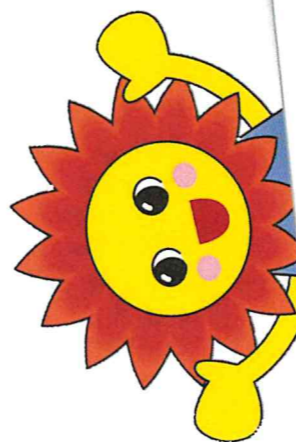


—発行— 社会福祉法人
 城陽市社会福祉協議会

京都府城陽市寺田東ノ口17
 TEL (0774) 56-0909
 FAX (0774) 56-2800



福祉教育(福祉体験学習)研修会・情報交換会を開催しました



社会福祉への理解と関心、ボランティア活動や地域のつながりを考えてもらう福祉教育が城陽市内の各小中学校で実施されています。

学校で指導される先生方や城陽市内のボランティアグループの皆様と福祉教育についての学びを深めるための研修会と情報交換会を、コロナ禍のため、昨年引き続きオンラインで開催しました。

前半の研修会では、日本財団パラスポーツサポートセンターが行っている「あすチャレジュニアアカデミー」に依頼し、パラスポーツ選手から「チガイを認識し、聞き、共生社会への一歩を踏み出すワークショップ型授業」の講座をしていただきました。障がいのあるパラスポーツ選手と交流をしながら障がいについて当事者の視点を聞く事や共生社会について考える機会となりました。

後半は、学校の先生方と当事者団体、ボランティア団体の皆様が今年度の福祉体験学習に向けて情報交換会を行いました。視覚に障がいがある方、聴覚に障がいがある方等、当事者団体とその方々をサポートするボランティア団体の皆様が講師をして、疑似体験の備品を城陽市社会福祉協議会で貸し出す等、生徒の皆さんが福祉をより身近に感じていただけるよう、様々な取組を行っています。

城陽ふれあいまつり実行委員会 ～今年度の開催内容が決定しました～

7月11日(月)城陽市立福祉センターホールにて令和4年度 第1回城陽福祉ふれあいまつり実行委員会が開かれました。城陽市内の関連団体、校区社協、当事者団体、福祉施設、ボランティア団体等が集まり、今年度の実施内容について協議されました。

協議の結果、商業施設を利用して11月頃にイズミヤ大久保店、アルプラザ城陽店にてポスター展示会を充実した形で開催することに決定しました。開催日時など、詳細が決まりましたら市社協のホームページ等に掲載します。福祉に触れ合う機会、是非ご参加ください。



城陽サマースクールはじまります！



城陽サマースクールは、城陽市内在住の障がいのある児童生徒を対象に、長期休暇を中心に、学校や地域を越えた仲間作りの場や、様々な体験ができる機会を提供する取り組みです。

昭和53年、まだ社会的なサービスが不足していた時代、当時の保護者の方が「子どもたちの長期休暇を充実したものにしたい」との想いで始まった取り組みで、今年で45回目を迎えます。

コロナ禍で、子どもたちの生活も大きく変化していますが、今年度も城陽サマースクールでは、お店の開店から販売までを体験する「城陽スマイルマルシェ」や新企画「手作りおばけ屋敷」等、ワクワクや楽しんでもらえる企画を考えています。

城陽ボランティア連絡協議会 夏の講演会

7月6日(水)城陽市立福祉センターホールにて、城陽ボランティア連絡協議会による、夏の講演会が開催されました。

城陽市消費生活センター 相談員による、最近の巧妙な詐欺のトラブルについての講座、城陽ボランティア連絡協議会の役員の方々による寸劇、城陽警察によるスマホや特殊詐欺についての漫才など、ボランティア活動を安心して取り組むための日頃からの詐欺への心得など、盛り沢山の内容で楽しみながら学ぶ機会となりました。

城陽ボランティア連絡協議会役員の皆様、お疲れ様でした。



城陽手話サークル「てまり」 緑綬褒章受章



長年にわたるボランティア活動などを称える緑綬褒章に城陽市手話サークル「てまり」が選ばれました。

1987年から月3回、聴覚障がい者を取り巻く環境や課題について必要な支援を行い、身近な支え手として尽力されています。今後もご活躍をお祈りいたします。

おめでとうございます！！

春の褒章受章者発表
京都府内から23人1団体

緑綬褒章とは、長年社会に奉仕する活動(ボランティア活動)に従事し、顕著な実績を挙げた個人・団体に天皇から授与されるものです。



北城陽中学校福祉体験学習に参加しました



6月29日(水)北城陽中学校第一学年約90名の生徒に福祉体験学習の事前学習として「福祉について」というテーマで主に身近にある地域福祉や高齢者福祉について講義を行いました。

講座の後は、高齢者疑似体験セットやアイマスクを使用した体験学習やパラスポーツの「ボッチャ」を意欲的に取り組まれていました。生徒同士で疑似体験と介助者を交代しながら、「(介助者に)教えてもらわないとこける」や「目に見えないってこわいな」等と意見や感想を伝え合っている姿も見られました。



福祉体験学習を通して、他者の事を自分事として考える事や福祉に対して関心を持つきっかけの一つになればと思います。

